

baserCMSテーマ制作チュートリアル

v4.3.0~



AGENDA

このチュートリアルを最後まで学習すると、静的HTMLのWebサイトを baserCMS 上で動作させるためのポイントを学習することができます。みなさんのWeb制作にお役立てください。

1. お題の確認
2. サーバーの準備とインストール
3. 事前準備
4. テンプレートの作成
5. 配布用テーマ向け機能

1. お題の確認

CHECK THEME

お題の確認

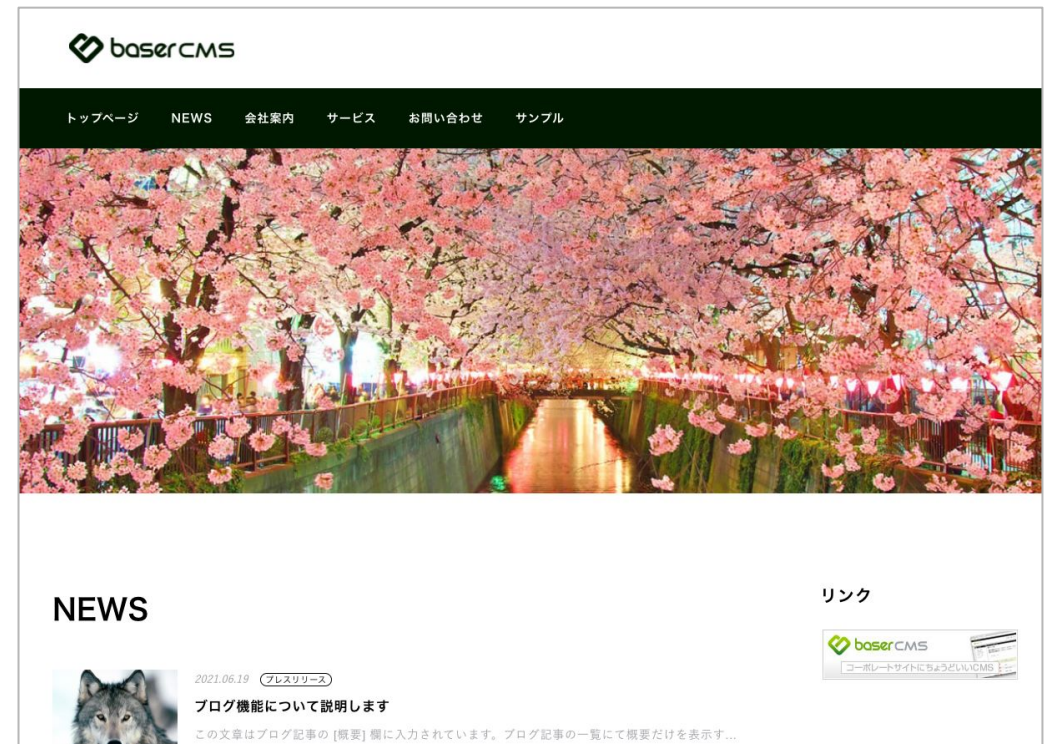
このチュートリアルに梱包されているお題となるWebページを確認しましょう。

html フォルダ内の index.html を開きます。

baserCMSに梱包されているBcSampleと

全く同じデザインのページですが、

このWebページをCMSで動作できるようにしていきます。



関数タグの例示を活用しましょう

先ほど開いたお題のページには、CMSを動作させるための関数の例示が記載されています。

テンプレートを作成する際、テンプレートに関数を埋め込んで動作させていきますが、PDFからコピーした場合に動作しない場合があります。

動作しない場合はこちらの例示よりコピーして利用するようにしましょう。

baserCMSサンプル編集するadminキャッシュクリア

添付のPDFファイルを読み進めながら、実際に手を動かしていきませんが、実際にテンプレートに記述するタグ（関数）は、下記に記載しているものからコピーすると便利です。

CSSタグの書き換え

```
<!-- /app/theme/webroot/theme/corp/Layouts/default.php -->
<?php $this->BcBaser->css('スタイルシート名') ?>
```

css部分の書き換え例

```
<!-- /app/theme/webroot/theme/corp/Layouts/default.php -->
<?php $this->BcBaser->css('style') ?>
<?php $this->BcBaser->css('editor') ?>
```

複数ファイルを1行で指定する例

```
<?php $this->BcBaser->css(['style', 'editor']) ?>
```

※ CSS直下の場合は、ファイル名のみで可、拡張子は省略可能
※ テーマとして配布しない場合は、関数への書き換え不要ですが、スラッシュから始まる絶対パスの記述に変える必要があります。

2. サーバーの準備とインストール

SERVER & INSTALL

サーバーを準備する

まずはサーバー環境の準備をしましょう

レンタルサーバー・XAMPP・MAMP・Docker 等

ロリポップ！の簡単インストールなどを利用すると、baserCMS のインストールまでを数クリックで完了する事ができます。



[使うほどお得 >](#) [GMOあおぞらネット銀行](#) [FX取引高国内1位 >](#) [GMOクリック証券](#) [法的に有効 >](#) [GMO電子印鑑Agree](#) [おかげさまで24周年](#)
すべての人にインターネット [GMO](#)

GMOペパボ株式会社

[ロリポップ!レンタルサーバー](#) [ヘテムルレンタルサーバー](#) [ムームードメイン](#) [マネージドクラウド](#)

[LOLIPOP! レンタルサーバー](#) [GMOペパボ](#) [サービス](#) [ご利用料金](#) [サポート](#) [導入事例](#) [お申込み](#) [ログイン](#) [Q](#)

ロリポップ! 爆速宣言

ロリポップ!をお使いの全ての皆様に「速い!」と感じていただくために、様々な取り組みを実施していきます!

[詳細はこちらから >](#)

まずは無料の10日間ではじめよう

baserCMS をダウンロードする

baserCMS のオフィシャルサイトから最新版の baserCMS をダウンロードして解凍します。

→ baserCMS コアパッケージダウンロード
<https://basercms.net/download/index.html>



[製品情報](#) [マーケット](#) [サポート](#) [制作会社を探す](#) [ホスティングを探す](#) [ダウンロード](#)

クリエイターの方へ / 参加・貢献 (コミュニティ)

DOWN LOAD

ダウンロード

Webサイトを自由にカスタマイズできる
「baserCMS」最新版を ぜひお試しください。

 **baserCMS 4.3.5 ダウンロード**

最終リリース日：2020/05/29
アップデート可能バージョン：4.0.0 以降
アップデート時の追加作業：必要

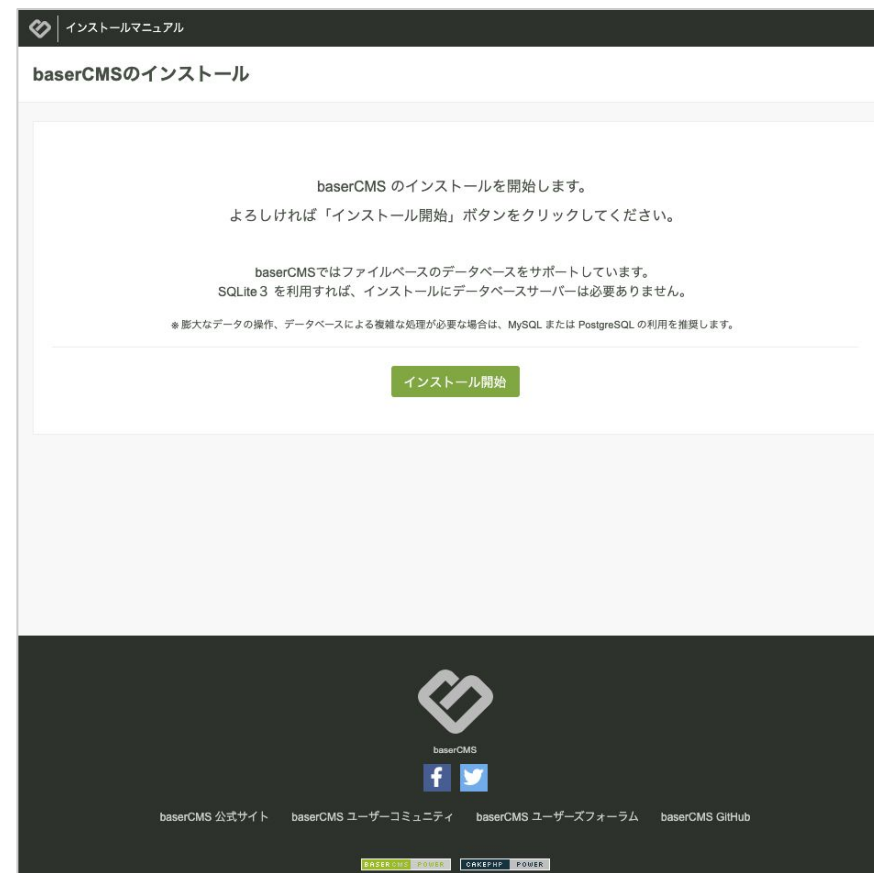
**baserCMS**
ダウンロード数 / **247,045**
最新バージョン / **4.3.5**
[今すぐダウンロード](#)

メルマガ登録

baserCMS
最新ニュース
ゲットしよう！

サーバーへの展開とインストール

1. 解凍してできたファイル群を全てサーバーにアップロードします。
(XAMP、MAMPの場合はドキュメントルートフォルダへコピーします。)
2. トップページ URL にブラウザでアクセスします。
3. インストール画面を表示できたら指示に従ってインストールをすすめます。
4. データベースは環境に応じて任意のものを選択しましょう。
5. インストールが完了したらダッシュボードに移動して動作を確認します。



3. 事前準備

PREPARATION

テーマの変更

/theme/ フォルダの中に corp という名前でフォルダを作成し、サーバー上に配置します。

メニューの「設定」内にある「テーマ管理」をクリックし、「corp」というテーマが表示されているのを確認します。

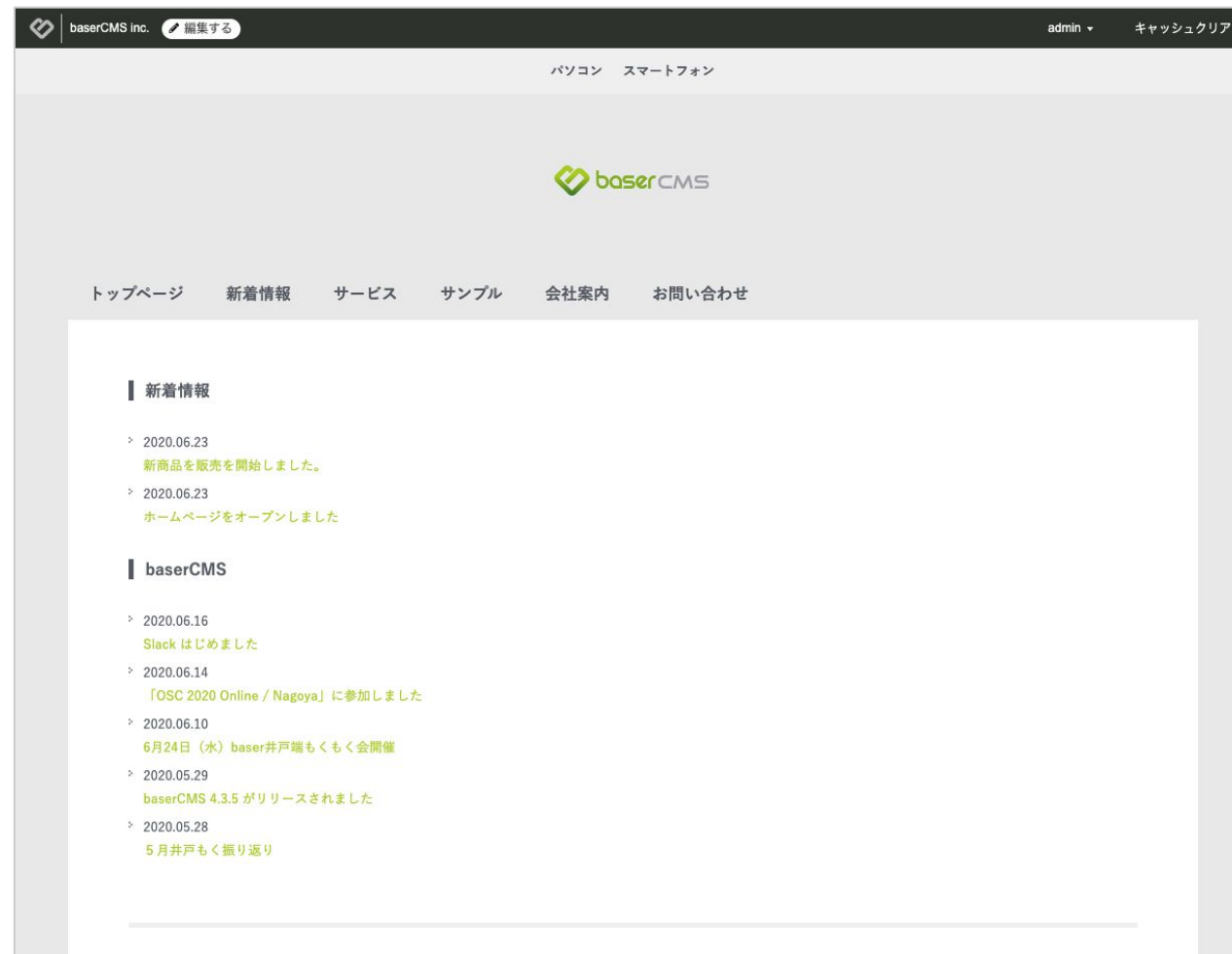
一番左のチェックマークをクリックしテーマを有効化します。

The screenshot displays the baserCMS admin interface. On the left, a sidebar menu lists various management functions, with 'テーマ管理' (Theme Management) selected. The main content area, titled 'テーマ一覧' (Theme List), shows a table of installed themes. The theme '(corp)' is highlighted with a red rectangular box, and its status column shows a checked checkbox, indicating it is active. Other themes listed include 'baserCMSサンプルテーマ (bc_sample)', 'bcColumn (bccolumn)', and 'nada icons (nada-icons)'. The interface also shows a '現在のテーマ' (Current Theme) section at the top, displaying 'baserCMSサンプルテーマ (bc_sample)' as the active theme.

フロントの表示を確認する

画面左上のサイト名部分をクリックするとフロントのトップページを表示できます。

現時点では、テーマフォルダ内にテンプレートが存在しないので、baserCMSコアのデザインが反映された状態となっています。



事前にデバッグモードへ切り替える

■ サーバーキャッシュについて

baserCMSのページ機能は表示速度向上の為、サーバーキャッシュ機構というものを利用していますが、そのために、変更したテンプレートをサーバー上に配置した場合、変更内容が表示が変わらない場合があります。

その場合、管理システム右上にある「キャッシュクリア」を実行すると表示を更新する事ができます。

■ デバッグモードとは

プログラムのバグを手直しすることをデバッグといいます。デバッグモードではバグの手直しに必要な情報を画面上に出力することができ、さらに、サーバーキャッシュが生成されなくなります。

メニュー「設定」内のサイト基本設定の「制作・開発モード」でデバッグモードに変更することができますが、**制作が完了したら必ずノーマルモードに戻しましょう。**

テンプレートの構成について

baserCMSは右の図のようなテンプレートで構成されています。

- レイアウト

Webページの全体を構成するテンプレート。エレメントやコンテンツの出力部分を配置します。

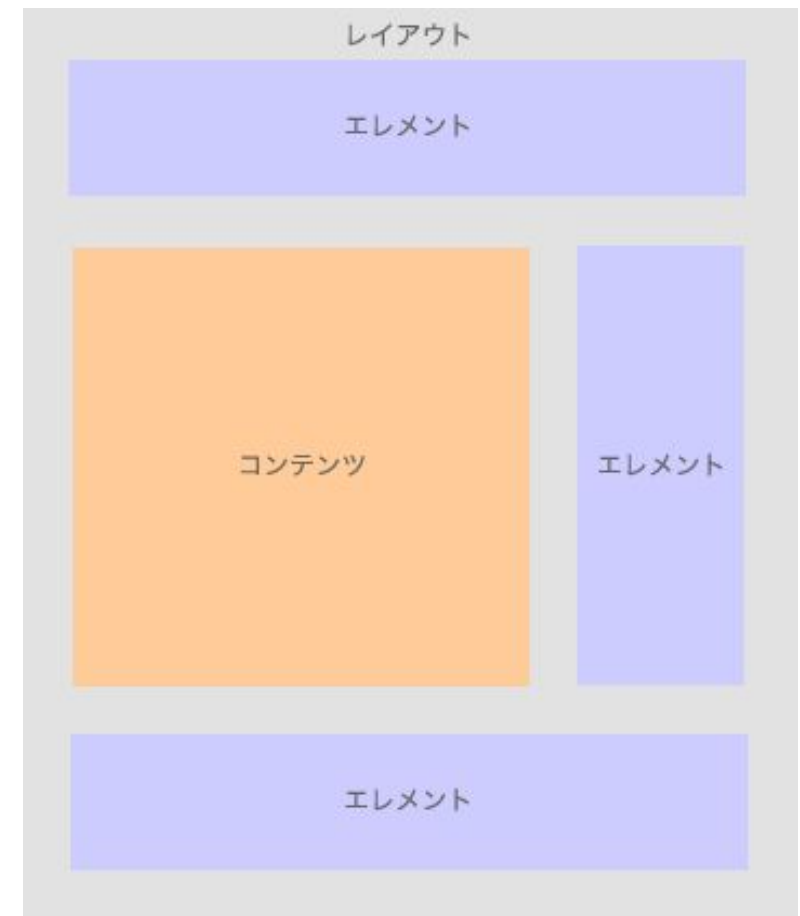
- エレメント

ヘッダーやフッター等Webページの部品となるテンプレート

- コンテンツ

CMSで管理するコンテンツ本体が出力されるエリア

右図はあくまで例であり、エレメントを利用せず、レイアウトとコンテンツのみ構成しても構いません。



4. テンプレートの作成

CREATE TEMPLATE

レイアウトテンプレートの作成

レイアウトテンプレートは、`Layouts` というフォルダ内に保存します。

1. テーマフォルダ `/theme/corp/` 内に `Layouts` というフォルダと `Elements` というフォルダを作成します。
2. `Layouts` フォルダ内に `default.php` というファイルを作成します。
(文字コードはUTF-8)
※ `Elements` フォルダ内は今は空のままで問題ありません。
3. 添付している `html` フォルダ内の `index.html` の内容を `default.php` に、そのまま貼り付けて保存してください。



CSSと画像の配置

html フォルダ内の css フォルダ、img フォルダ、js フォルダを、テーマフォルダ / theme/corp/ 内に配置します。

この時点では、画像やCSS、Javascriptのリンクのパスが解決できていない為、リンク切れの状態となります。



外部ファイルを参照するタグについて

■ 配布を目的としたテーマの場合

配布を目的としたテーマとして作成する場合は、サブフォルダに設置される可能性もある為、そのままのパスで配布するとリンク切れをおこしてしまう場合があります。

そのため、A、IMG、CSS、JAVASCRIPTタグについては、自動的に適切なパスとなるよう、baserCMS用のタグに書き換える必要があります。

■ 配布を目的としないテーマの場合

配布を前提としない場合、通常のHTMLタグで記述されても構いませんが、そうであっても、ヘッダーやフッターなどの共通部品は、違う階層のファイルから読み込まれる事があるので、スラッシュ(/)から始まる「ルートパス」で記述します。



CSSタグの書き換え

CSSタグを次のコードに書き換えます。

- `css` フォルダからのパスで記述します。
- `css` フォルダ直下の場合は、ファイル名をそのまま書きます。
- 拡張子は省略可能です。

```
<?php $this->BcBaser->css('style') ?>
```

二つ以上のCSSを一行で指定することもできます。

```
<?php $this->BcBaser->css(['style', 'editor']) ?>
```

CSSタグでbaserCMSのタグを利用する理由は、パスを解決する為だけですので、次のように `themeUrl` という関数を利用しても構いません。

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="<?php $this->BcBaser->themeUrl() ?>css/style.css" />
```

Javascriptタグの書き換え

Javascriptタグを次のコードに書き換えます。

- `js` フォルダからのパスで記述します。
- `js` フォルダ直下の場合は、ファイル名をそのまま書きます。
- 拡張子は省略可能です。

```
<?php $this->BcBaser->js('jquery-1.11.3.min.js') ?>
```

二つ以上を一行で指定する場合は配列で指定します。

```
<?php $this->BcBaser->js(['jquery-1.11.3.min.js', 'startup']) ?>
```

JavascriptタグでbaserCMSのタグを利用する理由は、パスを解決する為だけですので、次のように `themeUrl` という関数を利用しても構いません。

```
<script type="text/javascript" src="<?php $this->BcBaser->themeUrl() ?>js/startup.js"></script>
```

IMGタグの書き換え

レイアウトテンプレート内の各IMGタグを書き換えます。

- URLは baserCMS設置場所のスラッシュから始まるルートパスで記述

```
<?php $this->BcBaser->link('リンクテキスト', 'URL') ?>
```

(例) `` の場合

```
<?php $this->BcBaser->img('logo.png', ['alt' => 'baserCMS', class='bs-header__logo']); ?>
```

IMGタグでbaserCMSのタグを利用する理由は、パスを解決する為だけですので、次のように `themeUrl` という関数を利用しても構いません。こちらの方が、一括置換処理を行いやすいです。

```
"
```

Aタグの書き換え

レイアウトテンプレート内の各Aタグを書き換えます。

- URLは baserCMS設置場所のスラッシュから始まるルートパスで記述

```
<?php $this->BcBaser->link('リンクテキスト', 'URL') ?>
```

(例) `VIEW ALL` の場合

```
<?php $this->BcBaser->link('VIEW ALL', '/news/') ?>
```

AタグでbaserCMSのタグを利用する理由は、パスを解決する為だけですので、次のように `baseUrl` という関数を利用しても構いません。こちらの方が、一括置換処理を行いやすいです。

```
<a href="<?php $this->BcBaser->baseUrl() ?>news/">VIEW ALL</a>
```

IMGタグをAタグで挟む場合

IMGタグをAタグで挟む場合は次のように、urlオプションをつけます。

```
<?php $this->BcBaser->img('test.gif', ['url' => '/test']); ?>
```

baseUrl関数とthemeUrl関数を合わせて利用しても構いません。

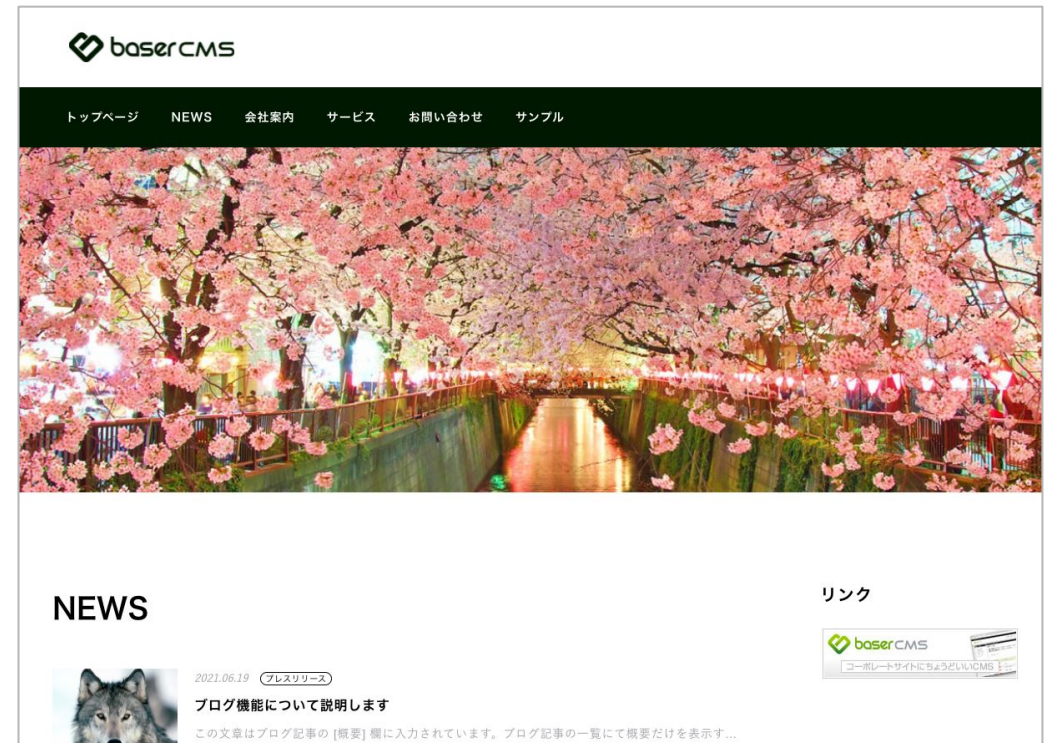
```
<a href="<?php $this->BcBaser->baseUrl() ?>test">  
    
</a>
```



ブラウザで一旦確認

このあたりで、一旦ブラウザ上でフロントの表示がどのようになっているかを確認しておきましょう。

先ほどは、リンク切れした状態でしたが、CSSや、Javascript、画像のパスがきちんと解決していれば、右のように正常に画像等が表示されるはずです。



タイトル・メタタグの埋込

レイアウトファイル(default.php)のheadタグ内に次のタグを書き込みます。

■ Title タグ

```
<?php $this->BcBaser->title() ?>
```

■ META Description タグ

```
<?php $this->BcBaser->metaDescription() ?>
```

■ META Keywords タグ

```
<?php $this->BcBaser->metaKeywords() ?>
```



baser標準タグの埋込

■ baser標準 script タグ

baserCMSが用意している標準の機能を利用する為に次のタグを `</head>` の前に埋め込みます。

```
<?php $this->BcBaser->scripts() ?>
```

■ baser標準 func タグ

同じくbaserCMSが用意しているツールバーを利用する為に次のタグを `</body>` の前に埋め込みます。

```
<?php $this->BcBaser->func() ?>
```

この時点でブラウザを確認すると画面上部にツールバーが表示されます。

ブラウザで一旦確認

このあたりで、一旦ブラウザ上でフロントの表示がどのようなになっているかを確認しておきましょう。PHPのエラーが発生していなければ問題ありません。

リンクをクリックしても全てトップページになるはずです。

リモートのサーバーで確認している場合は、通常のWeb制作と同様、編集したファイルをその都度 FTP ツールなどでアップロードして確認します。



グローバルメニューの書き換え

グローバルメニューを管理画面で管理する為、ULタグの部分も含め次のタグで書き換えます。ヘッダー・フッターともに書き換えます。

```
<?php $this->BcBaser->globalMenu(2) ?>
```

また、このテーマに最適化されたグローバルメニュー用のエレメント「global_menu.php」がチュートリアルに梱包されていますので、`Elements` フォルダの中に保存します。

数字の「2」は、2階層目まで出力することを指しています。

メニューを動的に出力する必要がない場合は、グローバルメニューエレメントの利用は特に必要ではありません。

グローバルメニューの管理機能が不要であれば、書き換える必要はありません。



トップページの登録

管理システムにログインし、「コンテンツ管理」より「トップページ」をダブルクリックして固定ページ機能の編集画面を開きます。

「本文」欄をソースビューに切り替え、htmlファイルの「コンテンツ本体」部分のソースを貼り付けます。

※ 今回のテーマであれば、`<!-- Main Contents -->` の記述がある部分が「コンテンツ本体となります。



コンテンツ部分の書き換え

<!-- Main Contents --> があつた部分にコンテンツ出力タグとして次のタグを記述します。

```
<?php $this->BcBaser->content() ?>
```

この部分に、管理システムより登録した、固定ページや、ブログ記事、メールフォーム等が表示されます。



下層ページでトップメイン画像を非表示にする

下層ページではトップのメインイメージは不要ですので、トップのみ表示するということにします。

`$this->BcBaser->isHome` 関数を利用します。

```
<?php if ($this->BcBaser->isHome()): ?>
    <ul id="MainImage" class="bs-main-image">
        :
    </ul>
<?php endif ?>
```



NEWSの要素化と表示切り替え

NEWSを要素として切り出し、トップページのみ表示するようにします。

bs-info というクラス名がついたDIVタグを探し、`Elements` フォルダに `top_info.php` というファイルを作成してそこに丸ごと保存します。

代わりに `default.php` の上記の場所には次のタグを貼り付け、トップページの場合のみ `top_info.php` を読み込みます。

```
<?php if($this->BcBaser->isHome()): ?>
    <?php $this->BcBaser->element('top_info') ?>
<?php endif ?>
```



トップページにブログ記事を表示する

先程編集した top_info.php でブログ記事の読み込みを実装します。
ULタグの部分を次のタグに置き換えます。

```
<?php $this->BcBaser->blogPosts(' ブログコンテンツ名', 表示件数) ?>
```

※ 今回、ブログコンテンツ名には news と記述

また、このテーマに最適化されたブログ記事一覧用のテンプレート「posts.php」がチュートリアルに梱包されていますので、 /theme/corp/Blog/default/ フォルダの中に保存します。

最後に、初期表示用のブログ記事のサムネイルを正常に表示するため、html フォルダ内の files フォルダをテーマフォルダ / theme/corp/ 内に配置します。

テンプレートのカスタマイズについて

これまでグローバルメニューやブログ記事一覧をやってきておわかりのとおり、テーマの中にテンプレートファイルを配置しなければ、baserCMSの本体に配置されているテンプレートを読み込みます。テーマ内に配置するとそちらが読み込まれる仕様になっています。

■ グローバルメニューの本体のテンプレートの場所

```
/lib/Baser/View/Elements/global_menu.php
```

■ ブログ一覧の本体のテンプレートの場所

```
/lib/Baser/Plugin/Blog/View/Blog/default/posts.php
```

本体のテンプレートを直接編集してももちろん編集内容が表示に反映されますが、baserCMSのアップデートの際に上書きされてしまうので、テーマ内に配置してからカスタマイズしましょう。



サイドバーコンテンツの読み込み

ブログの最新記事一覧などのウィジェットが配置されているサイドバーを読み込みます。

サイドバーのDIVタグの中身を次のタグに置き換えます。

```
<?php $this->BcBaser->widgetArea() ?>
```

また、このテーマに最適化されたウィジェット用のテンプレート「widget_area.php」、「search.php」がチュートリアルに梱包されていますので、次の場所に配置します。

```
/theme/corp/Elements/widget_area.php
```

```
/theme/corp/Elements/widgets/search.php
```



5. 配布用テーマ向け機能

FUNCTIONS FOR DISTRIBUTION

テーマ画像の配置

ロゴとメインイメージは管理システムのテーマ設定より変更する事ができるようになっており、メインイメージについては、カルーセル等に対応できるよう、5枚まで設定できるようになっています。

初期画像としてテーマに梱包して配布するためには、ルールに則って画像が配置されている必要があります。

■ ロゴ

`/theme/corp/img/logo.(gif|jpg|png)`

■ メインイメージ

`/theme/corp/img/main_image_num.(gif|jpg|png)`

※ numには1～5の番号が入ります。

テーマ画像の出力

■ ロゴ

ロゴの出力箇所に下記のタグを記述します。

```
<?php $this->BcBaser->logo(['class' => 'bs-header__logo']) ?>
```

■ メインイメージ

メインイメージの出力箇所に下記のタグを記述します。

```
<?php $this->BcBaser->mainImage([  
    'all' => true,  
    'num' => 5,  
    'width' => '100%',  
    'class' => 'bs-main-image'  
) ?>
```

※ 第一引数に、次のオプションを配列で指定する事ができます。

- num - 取得する画像の番号指定(省略時は1番目)
- all - 全ての画像を取得するかどうか(リストタグで出力。省略時は false)
- id - 全ての画像を取得する際に ul タグに付与する id 属性

テーマカラーの設定

メインカラー、サブカラー、テキストリンク、テキストホバーをテーマで定義しておくことで、管理システムで変更できるようになります。

テーマカラーの設定は、テーマカラーとなるCSSを抜き出し、設定元CSSとして、次のファイルに記述します。

```
/theme/corp/css/config.css
```

テーマカラーの定義を次のとおりです。

- **MAIN** …メインカラー
- **SUB** …サブカラー
- **LINK** …テキストリンクカラー
- **HOVER** …テキストホバーカラー



テーマカラー設定ファイルの例

```
.bs-header__nav,  
.bs-footer{  
    background-color:MAIN!important;  
}  
.bs-pagination a,  
.bs-top-post-to-list a,  
.bs-widget-local-navi h2{  
    background-color:SUB;  
}  
.bs-main-contents a:link,  
.bs-main-contents a:visited,  
.bge-contents a:link,  
.bge-contents a:visited,  
.cke_editable a:link,  
.cke_editable a:visited {  
    color:LINK;  
}  
.bs-main-contents a:hover,  
.bge-contents a:hover,  
.cke_editable a:hover {  
    color:HOVER;  
}
```



テーマカラー設定における注意事項

- テーマ内のCSSを書き換えるのではなく、あくまで設定上書き用のCSSを作成し、両方を読み込むので、条件によっては上書きができない場合があります。
※ 設定用CSSのプロパティに `important` を付与する事で対応できます。
- `MAIN`、`SUB`など4つの設定について、全て埋め込む必要はなく、必要な設定だけ埋め込めば大丈夫です。
- テーマカラーを設定した場合、`$this->BcBaser->script()` を記述した箇所にCSSを挿入しますので、上記関数の後にCSSを読み込まないようにしてください。



初期データの用意

データベース用の初期データをテーマで用意する事ができます。

管理システムで、メニューや、固定ページの内容を変更した後、その状態を初期データとしてテーマに梱包する事ができます。

1. メニュー「設定」を開き、テーマ管理に移動します。
2. サブメニューの「テーマ用初期データダウンロード」をクリックします。

これは、居酒屋テーマを作成したい等、baserCMSが最初から準備している初期データではテーマのコンセプト合わない場合に利用します。必要でなければ作業は不要です。



初期データの配置

ダウンロードしたデータは、下記フォルダに配置します。

`/theme/corp/Config/data/`

初期データは複数配置してテーマに梱包することができます。

(例)

- デフォルト … `/theme/corp/Config/data/default/`
- パターンA … `/theme/corp/Config/data/pattern-a/`
- パターンB … `/theme/corp/Config/data/pattern-b/`



baserCMSのリセットと、初期データのインストール

インストール前に初期データを梱包したテーマを配置しておく、インストールステップ3や、テーマ管理で、選択して読み込むことができるようになります。

baserCMSをリセットしてテストしてみるとよいでしょう。

リセットするには、制作・開発モードを「インストールモード」に変更し、次のURLにブラウザでアクセスします。

<https://baserCMSの設置場所/installations/reset>



動作を確認する

最後に、動作に問題がないかフロントページを確認しましょう。

このように、baserCMSは柔軟にデザインのカスタマイズを行う事ができます。

もう少し詳しく知りたい方は、公式サイトの情報も参考にしてください。わからない事があったらフォーラムで質問してみましょう。

<https://forum.basercms.net>

なお、今回の課題となったWebページは、BcSample というテーマ名で、完成版がパッケージに梱包されています。こちらも確認してみてください。



他にもいろいろ機能があります

制作者向け機能の詳細は下記ページの「制作者向け機能一覧」を御覧ください。

<https://basercms.net/about/feature.html>



マニュアル、質問先はこちら

- **baserCMS公式ガイド**
<http://wiki.basercms.net/>
- **関数リファレンス**
<http://wiki.basercms.net/ver4/関数リファレンス>
- **APIドキュメント**
<http://api.basercms.net/>
- **baserCMSユーザーズフォーラム**
<https://forum.basercms.net/>
- **baserCMSの雑談広場(Facebook)**
<https://www.facebook.com/groups/basercms.zatsudan/>

